

愛知県看護協会より表彰されました！



当院のICTチームメンバー

当院では、新型コロナウイルス感染症流行時より院内の感染対策、院外の地域活動に積極的に取り組んできました。

高齢者施設等のクラスター発生時には感染者を最小限に抑えるための支援や、入院された患者さんのご自宅を退院後に看護師が訪問し看護をつなぐことにも取り組みました。

ご自宅への訪問時に、辛そうな表情をされている患者さんとお話しさせていただく中で、次第に表情がなごみ「来てくれてありがとう」と見送ってくださった笑顔を忘れることができません。

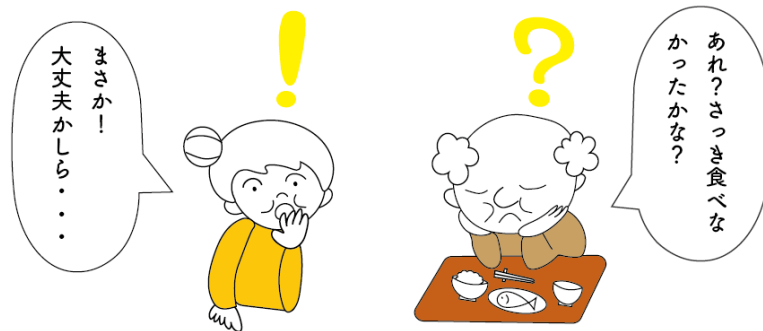
私たちは患者さんに寄り添うためにどのような看護の提供ができるかを日々考えながら、今後も皆様の笑顔の支えとなる活動を目指していきます。

感染管理認定看護師 酒井 りえ

今月号は、老年内科の診療の一部をご紹介します！

認知症とサポートする環境を知ってみる。

知らないと
知っているで
はキモチが少
しだけ変わる
かもしれない
かもしれない。



消防署 × 稲沢市民病院 合同勉強会の様子



6月23日に稲沢消防署と当院で合同勉強会が開催されました。救急隊が、傷病者のいる現場から当院に到着してからの10分間。この10分間に適切なチーム蘇生が求められます。勉強会を通じて、双方の救命活動を知り、コミュニケーションを図ることにより、『命のリレー』を今まで以上に協力して行えることができるように取り組んでいます。

Event

稲沢市民病院公開講座

大腸のお話。



参加費 無料
事前申し込み制

テーマ・講師

『大腸がんの治療について』

院長 | 山口竜三 医師

8.21 2022

『ここまで進んだ！大腸がん手術』

外科医長 | 田中綾 医師

14:00 — 15:30

『手術前後のリハビリテーション』

定員 | 会場は先着30名(予約制)

リハビリテーション室
吉田侑嗣 理学療法士

in 稲沢市民病院 | 2階講堂



広報紙バックナンバー

認知症と

サポートする環境を知ってみる。

『認知症と服用薬剤の関連』

『当院の認知症への取り組み』についてお話します。

認知症と薬剤との関係

認知症とは、成長過程で発達させた認知機能が徐々に低下して日常生活に支障がでてきた状態と定義されています。認知症は脳の病気で考えられている方は多いと思われますが、認知機能は様々な理由で低下します。

例えば、胃の薬、痛み止め、かゆみ止め、尿失禁の薬などを漫然と服用していると認知機能が低下することがあると言われるでしょう。外来診療でこのような話をすると少なからず、患者さんや患者さんの家族は驚かれます。そんなことがあり得るのでしょうか？

例えば、花粉症の薬を服用したときを想像してみてください。服用後に眠気を感じることがあれば、服用しないときと比較して認知機能が下がっているのです。すでに認知機能が日常生活に支障がでるところ近くにまで落ちてきた人が、このような薬の服用をきっかけに、本当に日常生活に支障をきたしたとしても不思議ではありません。

また、すでにアルツハイマー型認知症と診断されている人は、更に認知機能を下げる可能性のある薬剤の服用は避けるべきです。すでにそのような薬を服用している場合は減量または中止することで、認知機能が改善する可能性があります。物忘れが気になっている方は、一度自分の服用薬の見直しをすることをお勧めします。高齢になるにしたがい、程度の差はありますが取り込まれた薬剤の成分が長く体内に留まり、そのため体内の薬剤濃度が高くなり副作用が目立つようになります。先ほどまでは、認知機能低下を助長する薬剤の話でしたが、抗認知症薬をすでに服用されている方も服用期間が長くなってくると治療薬である抗認知症薬そのものによる副作用が診られるようになります。

食欲がなくなったり、怒りっぽくなったり、歩きにくくなったりすることがあれば、抗認知症薬の副作用の可能性は否定できません。減量することでこれらの症状が軽減、消失することはよく経験します。副作用が疑われたときは、地域のクリニックの先生からの処方に対しても診療の妨げにならない程度に減量、中止し経過観察をお願いしています。

コグニサイズ

認知症治療に非薬物治療として積極的にコグニサイズを導入しています。コグニサイズとは、国立長寿医療研究センターが開発した運動と認知課題（計算、しりとりになど）を組み合わせた、認知症予防を目的とした取り組みの総称を表した造語です。当院では、健康教室や外来待合時にデジタルサイネージで運動方法を発信しています。患者さん家族からは、コグニサイズの動きが徐々に上手になるに従い記憶力がよくなってきたとの効果を実感される声も聞かれています。

認知症相談外来

当院では、介護者を悩ませる認知症の周辺症状への具体的な対応方法の紹介と介護者の介護負担に対するケアを認知症看護認定看護師によって

令和4年度第1回健康教室（5月31日開催）で『コグニサイズ』を参加者の方と一緒に行いました。

楽しい健康教室になりました！



行っています。必要に応じて自宅訪問も行い住環境も含めて、地域包括ケアセンターの職員や地域の薬剤師に協力いただきアドバイスをしています。

地域で支える認知症

認知機能悪化に伴い自立生活が困難になっている地域住民の生活支援のために稲沢市高齢福祉課と協働で地域ケア会議を開いて多職種による対応協議を行っています。前年度は1件の地域ケア会議を開催しました。今後も引き続き認知機能低下で困っている住民の助けになる活動を継続していきます。

認知症サポートチーム

当院には、認知症看護認定看護師のほかにも認知症サポーターが50名程在籍しています。また、多職種で編成された「認知症サポートチーム」は、入院患者のせん妄予防に取り組み、せん妄による意識障害の軽減に助力しています。老年内科では認知症を含め自立度の下がった高齢者の診療と生活安定のために貢献していきます。



医師、薬剤師、理学療法士、看護師、医療相談員など多職種での病棟ラウンドの様子

認知症相談外来のご案内

電話予約（14時～16時）

代表 0587-1321211

入院中又は、通院中の方は、スタッフにお声かけください。



老年内科医師

廣瀬 貴久 医師